

受入研修

JICA 課題別研修「エネルギーの高効率利用と省エネの推進 (E)」を実施しました

一般財団法人省エネルギーセンターは、独立行政法人国際協力機構（JICA）様の委託を受けて、旧ソ連諸国からの研修員 7 名（政府関係者）に対して平成 30 年 6 月 4 日～6 月 29 日の間、日本の省エネルギー活動を指導する研修事業を実施しました。

研修目標は以下の通りです。

1. カントリーレポートの作成及び発表を行い、自国のエネルギー事情や省エネ政策を把握し、自国の問題点等を説明する
2. わが国のエネルギー政策・省エネ法と省エネルギー推進活動の現状を理解し、自国の省エネ政策と比較、適用可能性等について検討する
3. エネルギー優秀事例の視察を通して、実際の省エネルギーの具体的な対策や効果・利益を理解し、自国の工場等と比較しその違い、対策の適用可能性等について検討する
4. 省エネルギー推進についての研修成果に基づき、研修員は自国において実際の制度構築や政策提案を行うことができるように最終的に実現可能なアクションプランの作成を行う



概略のプログラム構成は以下の通りです。

- ①講義：省エネルギーの必要性、省エネルギー政策・省エネルギー法・日本の省エネルギー活動・体制・手段、基礎的なエネルギー管理体系
- ②見学：工場、ビル、家庭用エネルギーについて見学先を訪問
- ③発表：自国の省エネ推進における課題(カントリーレポート)、省エネ施策推進（アクションプラン）

研修員はカントリーレポート作成を通じて自国における省エネルギーに関する課題を整理し、その後グループワーク活動で自国の省エネルギー政策進展状況の整理とその結果に基づく改善提案の作成を行い、これらをベースに自国の省エネ推進政策となるアクションプランを作成しました。

第 3 項は本研修における重要項目であり、また政策担当責任者としてこの第 3 項を体験することは省エネルギー政策を推進するにおいて、極めて実践的な知見を得る良い機会になったと思います。